



岩手県学童保育連絡協議会

〒020-0122

盛岡市対馬3-38-20

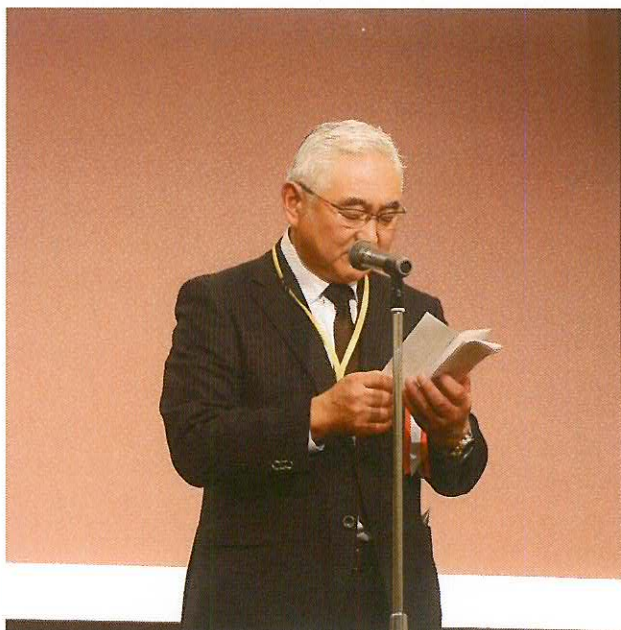
岩手県青少年会館内

Tel・Fax 019-681-0651

設立50周年の節目祝う

岩手県学童保育連絡協議会は設立50周年記念式典を11月23日、北上市のブルーニユー北上で開きました。式典に先がけて行われた記念講演には291人が参加。関東学院大学の中西新太郎教授が「子どもたち

のいま、学童保育が大切にしていきたいこと」と題して講演しました。中西教授は今を生きる子どもたちの生活事情や困難さに触れながら、問題の入り口を見つめるにはコミュニケーションが大事と説き「学童保育では、



記念式典で式辞を述べる千田広幸県連協会長

千田広幸県連協会長は「県連協はより良い学童保育のため結びつき、運動を重ねてきた。いかなる情勢にあっても働く保護者と子どもたちのため、取り組みを進めていく」とあいさつ。全国学童保育連絡協議会会長（代理）、岩手県知事（代理）、岩手県議会会議長、北上市長が祝辞を述べました。乾杯の後は、元役員や各県連協の来賓がスピーチに立ち、岩手県連協に敬意と

「50周年記念誌」発刊

県連協は、50周年記念事業の一環として「岩手県学童保育連絡協議会設立50周年記念誌」を発刊します。役員会内に設置され記念誌

部会が昨年からの編集作業を進めてきました。設立から50年のあゆみ、東日本大震災、岩手全国研などを写真と文章で振り返

花巻市連協によるステージ



エールを送りました。県連協のあゆみを振り返るスライド上映や北上、花巻両市連協によるステージ発表も行われ、県連協50周年の節目を盛大に祝いました。結びに、阿部勝県連協副会長が「自らのクラブを良くする運動と、全国連協と両輪となって追求してきたこれまでの活動を力に今後も学童保育を発展させていこう」とあいさつし、式典は閉会しました。

県研究集会を開催

災害対応など学ぶ

るほか、県連協の活動を支えてきた方々や各地域連協からの寄稿も掲載します。また、これまでの様々な活動の様子や資料、歴代役員名簿、経過年表など多数の資料を盛り込み、次の50

年を見据えた内容を目指しました。11月に開催された設立50周年記念式典の様子も収録しています。この記念誌は12月下旬に加盟各クラブ、団体、個人会員に発送の予定です。

県連協主催の第50回県学童保育研修集会は、11月23日、県連協の50周年に併せて開催されました。基調報告で、門田弘之県連協事務局長は「50年の運動のあゆみを受けとめ、子どもたち、働く保護者のた

と述べました。中西新太郎関東学院大教授による記念講演の後、5会場に分かれて分科会を開催。約300人が5会場に分かれて学びました。



「災害と学童保育」の分科会

50回目となる今年の研究集会では、近年自然災害が相次いでいることから「災害と学童保育」の分科会が初めて設けられ、58人の指導員や保護者が参加しました。3グループに分かれて、各学童保育クラブの避難訓練の取り組みや災害マニュアルの内容について交流、学習しました。